

公益財団法人日本科学協会
平成26年度事業計画書

1 学術の振興及び国際相互理解の促進に寄与することを目的とする事業

【1】科学・技術の振興

ア 若手研究者の研究奨励

1 一般科学研究助成

【助成内容】萌芽性、新規性または独創性のある研究内容で、基礎研究や非戦略的な研究や地道な観察研究など、他からの研究助成が受け難い研究を奨励し、あわせて意欲に満ち、優れた研究を行う若手研究者の育成のため、その研究に対して助成を行う。

【助成金額】1件あたり100万円を上限とし、平均約65万円。

【助成件数】240件

【対象分野】人文・社会科学および自然科学（医学を除く）に関する研究

【応募方法】毎年1回、ホームページへの記載により公募

【申請資格】大学院生あるいは大学等の所属機関で非常勤・任期付き雇用研究者であって、35才以下の者。

【選考方法】すべての応募について、有識者からなる委員会に諮り、選考基準及び年間予算額に則り助成先及び助成金額を決定。

イ 特定分野の研究奨励

1 実践研究助成

【助成内容】教育・学習・自立支援等を行う様々な組織・団体（NPOを含む）に所属する者が、その実践の場で抱える社会的諸問題の解決のために行う研究に対して助成を行う。

【助成金額】1件あたり50万円を上限とし、平均約33万円。

【助成件数】30件

【応募方法】毎年1回、ホームページへの記載により公募

【申請資格】現場で専門的立場にある者（教員、学芸員、図書館司書、スクールカウンセラー、指導員等）あるいは問題解決に取り組んでいる当事者など

【選考方法】すべての応募について、有識者からなる委員会に諮り、選考基準及び年間予算額に則り助成先及び助成金額を決定。

2 海洋・船舶科学研究助成

【助成内容】海洋・船舶関係全般にわたる萌芽性、新規性または独創性のある研究内容で、将来にわたって国際的に通用する研究者を輩出することを目的として助成を行う。

【助成金額】1件あたり100万円を上限とし、平均約70万円。

【助成件数】50件

【対象分野】「海洋学および海洋関連科学」ならびに「船舶および船舶関連科学」に関する研究

【応募方法】毎年1回、ホームページへの記載により公募

【申請資格】大学院生あるいは大学等の所属機関で研究活動に従事する者であって、35才以下の者

【選考方法】すべての応募について、有識者からなる委員会に諮り、選考基準及び年間予算額に則り助成先及び助成金額を決定。

ウ 研究成果公表支援

1 海外発表助成

【助成内容】海外研究集会（学会等を含む）において、研究成果の発表を行う研究者に対し、渡航費など必要な経費の助成を行う。

【助成金額】1件あたり30万円を上限とし、平均約20万円。

【助成件数】年間約70件

【応募方法】毎年4回、ホームページへの記載により募集

【申請資格】過去に笹川科学研究助成を受けた在日研究者

【選考方法】すべての応募について、有識者からなる委員会で定めた審査基準及び年間予算額に則り助成先及び助成金額を決定。

エ 「笹川科学研究奨励賞」受賞研究発表会の開催

1 「笹川科学研究奨励賞」

【対象件数】平成25年度助成者のうち、領域ごとに選出された計16名以内

【賞の趣旨】単に研究の内容や成果のみに捉われず、研究に対する取り組み姿勢など笹川科学研究助成らしい視点も加えて評価し、表彰することによって若手研究者の研究意欲を高める。

【選考】研究領域別選考委員会にて選考する。

【表彰内容】賞状および副賞各10万円

2 研究発表会の開催

【開催時期】平成26年4月25日（下記の「研究者交流会」と同日開催）

【内容】「笹川科学研究奨励賞」受賞者による研究成果の発表と質疑応答

【参加者】笹川助成研究者、指導教官、関係者など約300名

オ 研究者交流会（研究奨励の会）の開催（笹川スポーツ財団と共催）

【開催時期】平成26年4月25日

【内容】助成決定の通知、来賓の挨拶、研究者の相談指導、研究者の相互交流

【参加者】平成26年度助成者（自由参加）、来賓、指導教官、関係者など約400名

【2】学術、文化等に係る国際交流事業

ア 図書寄贈

【事業内容】日本で処分される有益な教育・研究図書を収集（20万冊以上/年）し、日本関係図書のニーズが高いアジア近隣諸国の大学・研究機関に対して継続的に寄贈する。

【寄贈方法】寄贈方針に基づき寄贈先ごとに選定・調整のうえ集約寄贈（3回～4回/年）

イ 日本知識大会

【事業内容】中国の大学の日本語学習者を対象に日本知識や日本語能力を検証する機会となる「日本知識大会」を全国規模で開催し、成績優秀者を日本に招聘する。

【参加資格】中国全土の大学の日本語学習者

【参加大学】100大学（選手：各大学3名）

ウ 作文コンクール

【事業内容】中国の青年を対象として、“日本”をテーマに中国語版と日本語版の2つの独立した「作文コンクール」を全国規模で開催し、成績優秀者を日本に招聘する。

なお、コンクールの企画は本会と共催機関が共同で、作品の募集、審査、公表は中国の共催機関、日本招聘は本会が実施する。

【応募資格】満16歳～45歳の中国国民

【募集方法】「中国青年報」紙及び「人民中国」誌等を通じて中国全土に募集告知する。

【選考方法】全応募作品を対象に、審査委員会が基準に則り審査を実施し、入賞作品を決定する。

【3】社会の変化に対応した独自の取り組み

【事業内容】優れた中・高校生に対する経験豊かな科学者による研究指導制度を試行し、次代の科学・技術を担う人材の育成を目指す一方、難解となりがちな科学・技術を、分かりやすく身近な形で一般に伝える事業を行うことで、社会への科学・技術の浸透を図る。

1 サイエンスメンター制

(1) 科学研究を行う優れた中・高校生に対し、その研究分野の経験を持つ科学者が指導者（メンター）として、学校教育の枠にとらわれない指導を行う制度を試行する。

(2) 人数：指導を受ける中・高校生20組以内で、1組につき適当なメンター1名が指導に当たる

2 サイエンスコミュニケーション

難解となりがちな科学・技術を、分かりやすく身近な形で一般に伝える見学会や講演会を実施する。

3 「生命科学」テキストの編集

生命科学について、一般向けのわかりやすいテキスト作成に向けて、準備・編集を行う。

【4】科学・技術の普及・啓発

ア 科学情報の Web 公開

1 地球科学に関する情報の公開

【事業内容】本会が製作した「Cubic Earth-もしも地球が立方体だったら-」を Web 上で広く公開するとともに、科学的に考察した気象学を中心とする教育教材として、教育現場での活用を視野に入れた出前授業を積極的に展開し、地球科学の理解推進に努める。

(1) 「立方体地球」の Web 公開（前篇は公開済）

前後篇各 15 分のアニメーションとその科学的解説を Web サイトで公開

(2) 映像（後篇）完成発表会の開催：平成 26 年 7 月予定

(3) 出前授業の開催

平成 26 年 10 月から 10 回程度を予定。講義形式で監修者である先生を講師とする。設定時間は 1～2 時間程度。

(4) 映像 DVD の貸出

DVD を用いた自主講座の開催を前提とすることなどを条件に、1 年以内の貸し出しを行う。

2 科学実験データベースの公開

【事業内容】 科学に関する実験や話題についてデータベースとして取りまとめたものをホームページで公開し、気軽に科学に触れ合う機会を提供する。

【公開内容】

(1) 科学実験／700 例

(2) 自然や文化に関する様々な話題／170 タイトル